

～褒める文化～

主な表彰関係一覧

No.	表彰名	対象	受賞者	授賞者	表彰頻度
1	安全提案に関する表彰	安全掲示板に提案のあった取組みで優れたもの ※NEXCO中日本による選定	個人 組織	社長	月毎 (該当時)
2	安全の苗大賞・苗賞	安全掲示板に提案のあった優れた安全提案	個人	グループCEO	1回/年 (10月)
3	ヒヤリハットオープン表彰	patoメモ提案の中で重大事故を未然に防止するために特に役立つヒヤリハット事例	個人 (巡回ペア)	社長	1回/年 (夏or冬)
4	安全の種大賞・種賞	安全掲示板に提案のあった特に役立つヒヤリハット報告	個人	グループCEO	1回/年 (10月)
5	CS感動大賞・感動賞	SSR返信内容において接客や現場処理対応の優れたもの ※大賞は年度1回、感動賞の中から選出	個人 (巡回ペア)	委員長(社長)	毎月
6	NEXCO中日本CS表彰	グループCEOが認めた優れたCS事案 ※支社が推薦するCS事案	個人 (巡回ペア)	グループCEO	1回/年 (12月)
7	東京支社感動大賞・感動賞	支社長が認めた支社管内の優れたCS事案	個人 (巡回ペア)	支社長	1回/年 (12月)
8	八王子支社感動大賞・感動賞	支社長が認めた支社管内の優れたCS事案	個人 (巡回ペア)	支社長	2回/年 (7・1月)
9	業務改善グランプリ総選挙	patoメモ提案の中で効果が大きかった業務改善提案及び効果が思ったより小さかったが次につながる提案	個人 組織	社長	1回/年 (7月)
10	業務研究発表(社内)	優れた業務研究論文及び発表	個人	委員長(社長)	1回/年 (7月)
11	業務研究発表(本選)	優れた業務研究論文及び発表 ※上記『No.10』の中より選出されたものを登録	個人	グループCEO	1回/年 (9月)
12	業務研究発表(ポスターセッション)	若年層(入社5年以内の者)による優れた業務研究論文及び発表 ※上記『No.10』の中より選出されたものを登録	個人	グループCEO	1回/年 (9月)
13	無事故走行表彰	業務用車両における無事故走行距離が一定走行距離を達成(例:100万キロ等)	組織	支社長 HSC所長 社長	都度
14	ボランティア表彰	基地・個人として継続的に行われている社会貢献活動	個人 組織	社長	1回/年 (4月)
15	フォトコンテスト	事業内容等をよく表した優れた応募写真	個人	社長	1回/年 (3月)
16	カロマイイベント表彰	『歩数競争(チーム対抗)』『ポイント競争(個人戦)』等の成績優秀者	個人 (チーム)	社長	1回/年 以上
17	支社長表彰	NEXCO中日本業務において功績が顕著と認められたもの	組織	支社長	2回/年 (半年1回)
18	HSC所長表彰	NEXCO中日本業務において功績が顕著と認められたもの ※上記『支社長表彰』以外	組織	HSC所長	2回/年 (半年1回)
19	社長表彰	功績が顕著と認められる事案や取組み	個人 組織	社長	1回/年 (4月)
20	隊長賞	基地業務において功績が大きかったもの	個人	隊長	月単位

中日本ハイウェイ・パトロール東京株式会社

〒160-0022

東京都新宿区新宿1-17-11BN御苑ビル7階

☎03-5379-2821

<https://www.nhp-tokyo.co.jp>



LINEスタンプ
好評発売中

2024年4月発行

中日本ハイウェイ・パトロール東京株式会社
経営計画チャレンジV (2021-2025)



2024

Central Japan Highway Patrol Tokyo Co., Ltd.
Management Plan Challenge V2021-2025

基本理念

私たちは、NEXCO中日本グループの一員として、
 高速道路の安全を通して、社会に貢献し、信頼される企業を目指します。

経営方針

- 交通管理のプロ集団として、快適で安心できる高速道路を支えています。
- 徹底した教育・訓練により、社員とお客さまの安全を追求します。
- 社員一人ひとりの絆を大切にし、明るい活力ある職場を創ります。
- 交通管理に対する社会の理解の向上を図り、信頼され、社員、その家族が誇れるより良い会社を目指します。
- 業務の効率化を推進し、イノベーションを加速させ拡大・成長につなげ、より強い会社を目指します。
- 高速道路の交通管理・道路管制・法令違反車両取締等の業務を通して、地球環境の保全に配慮し、環境負荷の低減に取り組みます。

行動指針

- 私たちは、事故を風化させず、自らの安全を確保し、お客さまを守ります。
- 私たちは、日々訓練を重ね、常に冷静沈着に行動します。
- 私たちは、安全性向上を目指し、知識・技能の研鑽に努めます。
- 私たちは、規律とチームワークを大切に行動します。
- 私たちは、お客さまの立場に立ち、至誠をもって行動します。
- 私たちは、高速道路の未来をみつめ、イノベーションを続けます。
- 私たちは、コンプライアンスを遵守し、社会的責任を果たします。

コーポレートスローガン 安全・安心を追求し、感動をお客さまへ

NEXCO中日本の企業理念・私たちの役割

私たちは、安全を何よりも優先し、安心・快適な高速道路空間を24時間365日お届けするとともに、高速道路ネットワークの効果を、次世代に繋がる新たな価値へ拡げることにより、地域の活性化と暮らしの向上、日本の社会・経済の成長、世界の持続可能な発展に貢献し続けます。

私たちの基本姿勢

私たちは、「6つの基本姿勢」の実践を通じてNEXCO中日本グループの企業価値を高め、ステークホルダーの皆さまの期待に応えます。

6つの基本姿勢

- ①お客さま起点で考える ②現場に立って考え行動する ③経験と知見を結集する
- ④効率性を追求する ⑤時代に即して進化し続ける ⑥社会の課題と向き合う

新年度のスタートにあたって
 ～ 2024 年度経営計画(チャレンジV'21～'25)～



代表取締役社長 阿久根 浩

今年度の経営計画は、5か年計画の4年目となり、いよいよ後半戦に入ってきました。これまでのところ順調な進捗状況ですが、引き続きPDCAを回して5か年計画の最終目標達成を目指します。

特に今年度は、「物流の2024年問題」に対応するため、大型トラック等の最高速度がアップすることにより、交通管理業務の安全対策強化、車限取締業務のより正確で適切な対応が求められます。また、NEXCO中日本で進めるi-MOVEMENTについても、当社の業務に大きく関わる道路管制センター高度化の取組みが本格化します。

このような状況を踏まえ、今年度の計画は、より高い安全性を追求し続け、「誇り」と「やりがい」を高めるために必要な施策を具体的に盛り込みました。会社として今年度何をを目指すのか、基地として何に取り組むのか、個人として何をやるのかそれぞれの目標を明確にし、それぞれの役割を果たして目標達成に向けてチャレンジしていきます。

以下、各基本施策の重点を記載します。

基本方針Ⅰ 「安全性向上への取組みの深化」

殉職事故風化防止については、忘れてはならない重大事故を具体的に再認識するところから始める必要があると考えています。過去の大規模災害の教訓も活かすことも含め、今年度もさらにこの取組みを強化していきます。

「物流の2024年問題」で大型トラック等の最高速度が90km/hに引き上げられることにより、交通管理の巡回中、規制中の危険度が高まっています。「使命感は安全を超えてはならない」を再認識して安全確保に努めます。加えて、車限取締業務についても、大型トラック等の運行時間管理が厳しくなる中、取締りへの反発や輸送効率を上げるための重量違反車両の増加等が危惧されることから、より適切で確実な業務執行を図ります。

基本方針Ⅱ 「明日を担う人財の育成」

自身とお客さまの安全を守る交通管理のプロ集団を形成するため、研修・訓練は極めて重要です。現場に即した実効性のある訓練の実施と訓練環境の拡充にも取り組みます。加えて知識の習得や事例学習等各自のスキルアップを図り、会社のノウハウを蓄えるためのプラットホーム(AOJT(Aggregation On the Job Training))の全社展開を進めます。

また、会社として、引き続き受託業務の安全かつ確実な執行を果たすことにより、社会的な信頼や企業価値を高め、処遇の改善を図り、人員の確保に努めます。

さらに、心理的安全性の確保された働きやすい職場づくりを推進するため「風通しを良くするためのQ&A」等の徹底を図り、ブラッシュアップを行います。

基本方針Ⅲ 「次世代への進化・チャレンジ」

新しい事業領域のサービス司令前卓業務がこの4月からスタートしました。安全で円滑な交通確保のためのお客さまへの情報提供が強化されることとなります。また、八王子管制にもタブレットが4月に本格導入され、昨年12月に導入された新交通管理システムについても効率的に運用されるよう改善提案を行っていきます。このようにNEXCO中日本で進めるi-MOVEMENTに協働で取り組みます。

目標を掲げ、昨日より今日、今日より明日と一人ひとりが自分の仕事に向き合い、創意工夫して改善・改良し続けること自体が「誇り」と「やりがい」の原動力になります。チャレンジVの名に恥じないよう全員でチャレンジしていきます。

1. 安全文化の醸成に努め、安全の深化に取り組みます。

(1) 「安全文化醸成」の取組みを深化させます。

- ①安全意識の向上につながる社員の気付きや提案の推奨
(patoメモの重点テーマ設定等によるさらなる活性化・安全掲示板への投稿の推進)
- ②「役員との意見交換会」や「安全対話」など基地キャラバンによる経営陣とのコミュニケーションの推進
(「使命感は安全を超えてはならない」などの浸透)
- ③定期的な「隊長会議」の開催による意思疎通及び会社の運営方針の浸透
- ④「安全の日」「安全月間」及び「安全を振り返る日」を活用した安全意識の高揚
- ⑤殉職事故風化防止の取組みの継続
- ⑥安全指導による作業の適正化及び安全性向上の推進
- ⑦安全性向上に向けた運転技術向上などの外部研修の推進
- ⑧安定した車両管理の促進 (NEXCOによる適切な車両更新の働きかけ)

安全文化醸成の取組みを深化

- 安全を何よりも最優先＝
「使命感は安全を超えてはならない」の浸透
- 大型トラック等の速度アップ (80→90 km/h) 対策
 - ・巡回車速度とのギャップ拡大→あおり運転の増
 - ・制動距離の伸長
→規制作業時の退避タイミングを早める
 - ・落下物回収のための車線横断タイミングの見極め



殉職事故 (2019.11.9) 風化防止の取組み

二度と悲しい事故を起こさないことを誓って、11月9日を「安全を振り返る日」と制定、毎月9日を「安全の日」、(12月2日は黙とう、安全行動指針の唱和、職場討議) 毎年11月を安全月間に定め、重大事故を自分事として再認識するため、安全に関する職場討議や訓練を実施しています。



11月9日 大月基地
本社事業部 事業課長
(ビデオメッセージ)
証言などをまとめた
記録動画の活用・追加



安全に関する職場討議



事故の詳細記録作成・再認識

具現化例 バス停からの外国人等の本線立ち入り事故を防止するため、立ち入り防止柵を設置 (吉田BS)



patoメモ活動を活用した安全意識の向上

当社が他社に先駆けて10年取り組んでいる、日々の気付きを提案するpatoメモ活動をさらに推進します。提案が具現化されることでさらなる安全意識の向上と「やりがい」につながる重要な取り組みです。より提案しやすいよう、重点テーマ(四半期に1回/月)を設定するなどさらなる活性化を目指します。

登録 (件数)	2021年度	2022年度	2023年度 (見込み)
patoメモ提案	2,034件	1,977件	1,750件
安全掲示板登録	340件	525件	470件
安全提案具現化	71件	58件	50件

(2) 業務中事故防止策に取り組みます。

- ①規制作業を行う上での危険箇所と過去の道路防災事例を取り入れたVPISの効果的な運用 (激甚化する自然災害への対応)
- ②隊員の安全確保に向けた高視認性安全服のさらなる機能強化及び車限制服の検討・改良
- ③巡回車に搭載可能なセーフティラインの導入及び標準化に向けた働きかけ
- ④大型トラックなどの最高速度引き上げに伴う安全対策の強化
- ⑤受傷事故の予兆としての規制器材損傷事例の分析・対策の検討
- ⑥規制器材の風飛散対策の検討
- ⑦過去事例の情報発信による啓発と安全意識の醸成 (安全レポートの四半期毎の共有など)
- ⑧ヒヤリハットの共有によるさらなる安全対策の推進
- ⑨個人訓練カルテを活用した訓練プログラムによる個々のスキルアップ
- ⑩安全作業検討会による作業手順の改善に向けた継続的検証
- ⑪ベテラン社員が持つスキル・ノウハウの蓄積・伝承 (形式知化)
- ⑫訓練環境の拡充 (仮設トイレなどの運用)

高視認性安全服のさらなる安全性強化

命にかかわる身体へのダメージを軽減させてくれるプロテクターの検証を進めてきました。高視認性安全服に部位別プロテクターを縫製することなどで、機敏性を失うことなく安全性を高める安全服を順次導入していきます。また、車限隊の制服についても視認性や暑さ対策を念頭に改良を検討します。



安全レポートの共有

安全管理課から四半期毎に、事故事例、教訓と対策、ヒヤリハット動画など共有する「安全レポート」を発行します。また、規制器材の飛散対策を引き続き検証していきます。

[安全管理レポート]



事故事例や
ヒヤリハット動画などの共有



規制器材への
重り設置訓練

(3) 関係機関との合同訓練などで連携や意思疎通の強化を図ります。

- ①IP無線機連携による安全かつ効果的な路上作業の推進
- ②現場力向上を目指した他社等と合同で行う高速道路安全訓練会の開催
- ③合同DIG訓練・コミュニケーション強化による最適な処理方法の確認・検討

(4) 大規模災害などのリスクに備えます。

- ①大規模災害などに備えるためのBCP (事業継続計画)
 - ・BCM (事業継続マネジメント) の継続検証および改善
- ②重大事故対応フローなど危機事象対応方法 (クライシスマネジメント) の周知徹底 (都度)
- ③異常気象が予想される際の準備体制の構築 (都度)
- ④事例から学び教訓とする過去災害・重大事故のドキュメント作成
- ⑤交通管制業務経験者数の確保及び川崎
 - ・八王子交通管制基地相互の実務研修 (クロス研修) を継続実施

IP無線の活用による安全かつ効果的な路上作業の推進



位置確認や先頭固定の調整 → より迅速・安全に規制等が可能

- 【2021】山梨県警導入
- 【2022】静岡県警、神奈川県警導入
- 【2023】長野県警導入
- 【2024】警視庁導入に向けた調整

大規模災害リスク対応

過去に起きた大災害や重大事故を教訓として学び今後に活かすため、社員の体験レポートを収集し、周知します。



大規模災害を想定したディザスタリカバリー訓練 (川崎・八王子)



東日本大震災時の体験レポート



地震発生直後の避難場所 区立花園公園 (2011.3.11 本社)

(5) 潜在的リスクに対応したリスクマネジメントを推進します。

リスクマネジメント

社長を委員長としたリスクマネジメント委員会を設置し、本社及び各基地で経営計画を基にリスクマップを作成し、リスクの把握と分析・対策を継続的にを行っています。

2. お客さまへの安全対策を推進します。

(1) 高速道路上で待機中のお客さまの安全性向上施策を推進します。

- ①セーフティベストの貸与やセーフティコール※による声掛け活動の継続 ※お客さまの状況確認←電話
- ②お客さまの安全を目的とした事故・故障車の安全な場所への早期移動や熱中症・寒さ対策グッズの配布

(2) お客さまが異常事態に遭遇された場合の対処方法などを発信していきます。

- ①ホームページやSSR (スマイル&セーフティ・リサーチ) などによる情報発信 (管理隊の作業内容や高速道路上でのトラブル時の対応方法動画など)
- ②ドライブレコーダー映像を活用した安全啓発活動の推進

路上での安全対策などを情報発信

事故や故障に遭われたお客さまにお渡ししているSSRへ、現場待機中の注意行動を掲載し周知しています。



ホームページに、隊員の旗振りの意味の周知動画を掲載しています。



3. 道路の老朽化対策に向けた大型車両の通行の適正化や交通危険防止のため、法令違反車両の取締りを強化します。

(1) 法令違反車両の取締りを安全に行います。

- ①車限版危険見積りの継続的見直し
- ②「物流の2024年問題」を踏まえたより安全・適切な対応

(2) 関係機関と連携した効果的な取締りを実施します。

- ①本線軸重計データなどを活用した効果的な取締り計画の策定
- ②交通管理隊などの違反嫌疑車両情報を活用した機動取締りの強化
- ③他機関合同取締りの継続実施

法令違反車両取締りの強化

路面や橋、トンネルなど道路構造物の劣化に大きな影響を与える重量超過等違反車両や、重大事故、交通渋滞の原因となる違反車両の取締りを強化しています。

高速道路は道路法 (車両制限令) の規定により、通行する車両の重さ、長さ、幅、高さなどの最高限度 (一般的制限値) があります。それを超える車両 (特殊車両) が道路を通行するには、道路の構造を保全し、交通の危険を防止するために必要な条件を付した、道路管理者の許可が必要です。

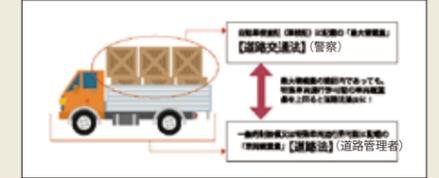
一般的制限値



道路管理者による措置



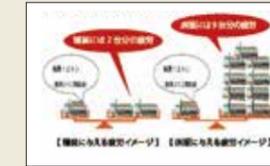
関係法令



特殊車両通行許可を受けずに通行したことによる事故事例



重量オーバーで道路の老朽化が早まります



※独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構発行パンフレット等より一部抜粋

(3) 車限取締業務に関するシステムの高度化やデジタル化に適切に対応します。

- ①特車違反システムの円滑な運用 ②特殊車両の新たな通行制度 (法改正) などへの適切な対応

関係機関と連携したデータ活用

SNSを通じて情報が拡散されると嫌疑車両が流入ICを変更することが増えています。関係機関との合同取締りや本線内外で警察との連携、交通管理隊や料金所からの目撃情報のデータなどを活用して取締り実効性向上に努めています。

■本線軸重計データ



データ分析・活用



■交通管理隊や料金所からの情報



情報提供

4. グループ内の連携・コミュニケーションを強化し、安全性向上に向け行動します。

(1) 現場で培った知見をグループ内で共有し安全活動に繋げていきます。

- ①危険見積りの継続的共有および活用と工事規制方法などの確認
- ②安全性向上に向けた安全掲示板への登録の推進 ③ロードキル対策などグループ一体となった取組みの推進
- ④グループ会社に対するヒヤリハット動画 (ドライブレコーダー映像) の共有や安全講習会などの開催
- ⑤現場の知見を活用した安全提案の推進

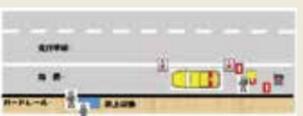
(2) 人事交流 (人財提供) によるグループ間の安全性向上に貢献します。

- ・スキルを活かしたセカンドキャリア環境の拡充

スキルを活かしたセカンドキャリア環境の拡充

グループ一体となった安全性向上に当社のスキルを提供していきます。将来も安心して働ける環境の整備を進めています。

(エンジ東京(株)転籍時の業務内容例)
施設点検時の運転業務・現場警戒・補助業務 など
【転籍】 グループ会社4社 16人 (2024.4.1 現在)



1. 培ってきた現場スキル・ノウハウを基盤に積極的に
自主性を発揮できる社員の育成を図ります。

(1) 内部・外部の各種研修や訓練などにより自己改革や組織力の強化に取り組みます。

- ①明日を担う人財育成を目的とした隊員育成プログラムに基づく各種研修の実施
- ②各種研修などのプラットフォームとなるAOJT=Aggregation On the Job Trainingの全社展開
- ③視野拡大と自主的行動の促進を目的とした他業務研修の実施
- ④運転技術指導者の拡充や、セーフティドライバーコンテストなどへの参加による技術向上

人財育成プログラム

・新入社員研修 ・フォローアップ研修 I, II
(6か月後、2年後)
基礎的な知識・技術の習得を目的に実施しています。同期の絆が深まります。



・高速道路安全訓練会
会社設立後、2008年度から安全強化・知識技術向上を目的に毎年実施しています。



他基地と交流することでモチベーションアップにもつながっています。

談合坂廃道敷の活用検討

・より実践的な訓練が行えるよう、旧中央道の談合坂付近の廃道敷の活用に向け休憩所やトイレの確保など環境整備を進めています。



県警との合同ガードレール飛び越え訓練



後方支援車(八王子支社)の使用確認

AOJTの全社展開

諏訪基地から業務研究発表会で提案され、全社版として再編集しました。新入社員や異動者、日々の机上訓練などに活用。管制業務、車限取締業務の取込みも見据えています。



個人訓練カルテ習熟度の可視化

2. 社員一人ひとりのCSマインドの醸成に努め、お客さま視点で考え行動できる人財を育成します。

(1) お客さまの声をCSマインド向上につなげます。

・SSRを活用したお客さまの声を収集、お客さまのつぶやきを書きとめるpatoメモ活動の促進

(2) 現場で気づいたお客さま視点の施策提案および導入などによりCS向上を目指します。

- ①CS向上につなげるpatoメモ活動の推進
- ②各基地におけるCS会議や接客に関する研修などの継続
- ③翻訳アプリなどを活用した丁寧な外国人対応

SSRを活用したお客さまニーズの把握

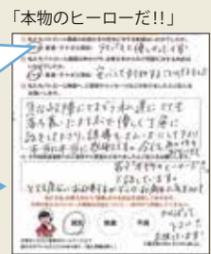
SSRにより収集したお客さまの声を大切に、CS会議で共有・振り返り・接客訓練などを実施、お客さまの不安を少しでも和らげ、安心を提供しています。また、お客さまからのコメントはモチベーションアップに大いに役立っています。

SSR 活動状況	2021 年度	2022 年度	2023 年度
配布枚数	13,291	15,075	13,259
返信枚数	1,128	1,583	1,376
SSR 感動指数 (お客さま満足度)	98.3%	98.5%	98.0%



接客時の配布

お客さまのコメントを分析し、さらに上の接客、対応を目指します。



返信ハガキ



CS会議で経験を共有

「本物のヒーローだ!!」

3. CSRの観点を持った人財を育成し、社会から信頼され続ける会社を目指します。

(1) CCOを中心に、

コンプライアンス意識の醸成を図ります。

- ①「風通しの良い職場づくり」に向けたスマイルコンプライアンス活動の推進
- ②NEXCO中日本と合わせた「コンプライアンス・タイム」の確実な実施(四半期に1回)と「ミニコンプラタイム」の継続開催(毎月1回)など、継続的な教育の実施
- ③「風通しを良くするためのQ&A」のさらなる活用及びブラッシュアップの検討

コンプライアンス意識の浸透

風通しのよい職場づくり推進のため、コンプライアンス意識の浸透に取り組みます。



弁護士による管理職向けのハラスメント研修



Q&Aのさらなる活用・ブラッシュアップ

(2) ワーク・ライフ・バランスの

充実に向けた取組みを推進します。

- ①心身のリフレッシュを図るため、公休を含めた連続休暇取得の奨励
- ②「業務の効率化・平準化」や「定時退社日」など、効率的な働き方の推進
- ③「やめる業務」の抽出・検討・実施

業務を洗い出し、事務作業の効率化や見直しを図る

契約事務も含めて再確認・検討を行う



(3) ダイバーシティ等※を推進し、企業価値の向上を目指します。 ※ダイバーシティ(多様性)、エクイティ(公平性)、インクルージョン(帰属意識)

- ①女性隊員も働きやすい職場環境・制度の整備及び女性社員の比率拡大
- ②ライフプランに合わせた休暇取得の奨励や、年齢・スキルなどに適応した就業環境の整備・推進(時間休制度などの導入)
- ③障がい者への就業機会の提供
- ④少子化に伴う労働人口の減少や高齢化の進展を踏まえた労働力確保対策(定年延長の導入準備)

ダイバーシティ等の推進

●女性活躍推進プロジェクト

2018年に3人からスタートした女性隊員は、現在14人に。悩みや課題の共有、働きやすい職場環境整備のため、女性隊員交流会を定期的に開催しています。また、NEXCOグループの女性社員とも交流を深めています。

女性隊員所属基地(2024年度)

- ①横浜(2人)②御殿場(2人)③静岡(2人)④伊勢原(3人)
- ⑤浜松(2人)⑥八王子⑦甲府⑧諏訪

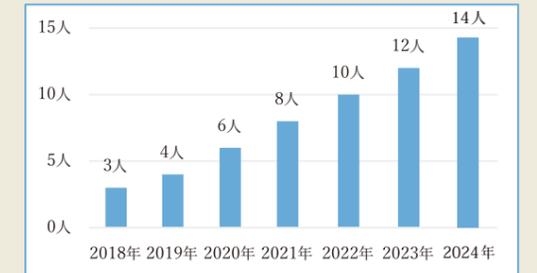
●みんなの生理研修

生理にまつわる知識向上と職場における相互理解を促進することを目的とした生理研修を行っています。



NEXCOグループの同業他社合同・実務研修

女性交通管理隊員人数推移



【育児休業取得者数】

項目	2020	2021	2022	2023
男性	0	3	8	17
女性	1	0	0(産休1)	1

【働きがい INDEX】

項目	2020	2021	2022	2023
ES調査値	3.87	3.82	3.86	3.95

※NEXCO 中日グループ本社員意識調査

(4) 組織間・基地内のコミュニケーションを活性化させます。

- ①社内報や全体ミーティング・引継ぎ機会の活用
- ②「貰ったハウ・レン・ソウはオ・ヒ・タ・シで返す」の徹底

コミュニケーションの活性化

部下は「Bad News Fast」
上司は「・・・オ・ヒ・タ・シで返す」の徹底



社内報編集会議での
関連な意見交換

(5) 業務研究発表会での業務改善提案などを通じて自律的に考え行動できる人財育成を目指します。

業務研究発表会

業務研究発表会を毎年開催。交通管理業務を深掘りし各基地で取り組んだ研究内容を発表します。
業務の記録を残す重要性を学び、自律的に考え行動できる人財を育てます。
優秀な作品はNEXCO中日本の業務研究発表会で発表し、専門技術力のアピールとモチベーションアップにつながっています。

2023年度業務研究発表会

- ◆本選
- ・「矢印板常設BOX設置による安全な規制テーパーの深化」
特別賞受賞



- ◆ポスターセッション
- ・「グループ会社の垣根を超えた安全性向上に関する取組み」
- ・「臨借マニュアルの作成について（班業務の分散と基地全体化に向けて）」



(基地)発表⇄(本社)助言・支援

(6) 組織の活性化やモチベーションの向上を図ります。

- ①隊長賞やボランティア表彰制度などの継続実施
- ②各業務の具体的なモチベーションアップ策の検討・実施

各種表彰制度

各種表彰制度を設け、社長表彰、ボランティア表彰、ヒヤリハット表彰、褒める文化表彰、CS感動賞などで組織活性化とモチベーションアップを目指しています。

(7) 社員一人ひとりの健康増進・保持するため健康経営に積極的に取り組みます。

- ①全社員を対象としたストレスチェックの実施
- ②「運動習慣化」や「食生活改善」など生活習慣の改善施策の推進(カロママイベントの改善・実施)
- ③健康診断個人票の活用及び人間ドックを含めた健康診断受診率100%の維持
- ④健康診断結果の記載方法見直しによる健康意識の向上

健康経営の推進

2017年に健康経営宣言を制定、社員の健康を推進し企業価値を高めていくことを目指しています。
AI健康アプリ「カロママ」の活用、ストレスチェックの全員実施、健康診断・人間ドック100%受診、脳ドックやピロリ菌検査に加え、胃カメラなどオプション費用の補助も行っていきます。

【カロママイベント参加者】

2022年 168人/475人 2023年 253人/472人 → 健康管理に関心の低い人の取り込み
目標：肥満の減(BMI値の適正化)など



(8) 感染症予防を引き続き徹底します。

- ①感染症予防の徹底と感染予防対策品の配備及びテレワークや時差出勤などの継続実施
- ②産業医と連携した迅速な検査などによるBCP体制強化

(9) 社員がより充実して働けるための福利厚生施策を推進します。

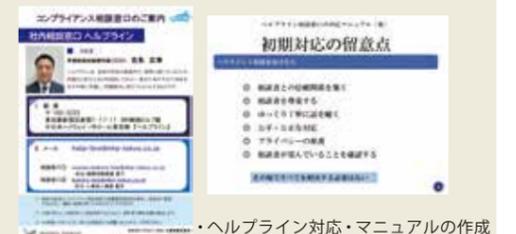
- ・自己啓発や能力開発に関する福利厚生施策の利用促進

(10) ヘルプライン(社内通報制度)の周知・徹底を継続します。

- ・ヘルプライン相談窓口の対応マニュアル作成

ヘルプラインの周知・対応マニュアルの作成

ヘルプラインの周知・徹底を継続するとともに、相談のあった事案に対してより適切かつ速やかに対応するため、対応者の基本的な心構えや留意すべき事項、標準的な対応の流れなどを定めていきます。
マニュアルを作成することで対応者の精神的安心につながり、また社員の皆さまもより安心して相談できる風通しの良い職場づくりを進めていきます。



(11) 社員の社会貢献意識を高めるための企業風土づくりを推進します。

- ①地域連携強化のためのCSR活動の推進
- ②マッチングギフトや古着支援活動などの継続的取組み

(12) 環境負荷低減活動に取り組み、持続可能な社会に貢献する企業を目指します。

- ・被服リサイクルやペーパーレスなど地球環境に配慮した資源の3Rの推進

(13) 情報セキュリティの継続強化及びインシデント対策を実施します。

- ・専門性を有する人財の育成及び専門部署によるサポート体制の強化

情報セキュリティ対策

情報の重要性や漏洩リスク、サイバー攻撃などのリスクが高まる中、システム障害などのインシデントに対応するため、総務部長を情報セキュリティ責任者とし、全社的に情報の安全確保に取り組んでいます。



(14) 内部監査を実施し、業務の適正化及びガバナンスの強化に取り組みます。

- ・監査結果の随時周知による水平展開の迅速化

(15) 健全な経営に向け、公正妥当な財務計画を策定し執行します。(P14参照)

1. i-MOVEMENTを通じ、業務高度化による安全性及び生産性向上に取り組みます。

(1) 業務高度化に向け、NEXCO中日本と協働して取り組みます。

- ①八王子道路管制センターのタブレット運用開始
- ②新交通管理システム改善の働きかけ
- ③川崎道路管制センターサービス司令前卓におけるSNS情報発信業務の運用開始
- ④日常点検高度化検証(インフラ管理PT)への協力
- ⑤東京支社検証での全線監視の協力



i-MOVEMENT
「次世代型技術革新による高速道路保全マネジメント」

～ 10年、20年後の未来へ～

各関係プロジェクトにおいてNEXCO中日本と協働し、グループの一員として高度化へ向けたチャレンジをしています。

●道路管制高度化
(タブレット運用)



・川崎 2022.4～・八王子 2024.4～

●サービス司令前卓業務
SNS情報提供(X・LINE等)



2024.4～

●新交通管理システムの導入
月次報告等の入力・提出処理等



2023.12～

●インフラ管理PTへの協力
(日常点検高度化)



2023.8～

2. 高速道路の管理方法・体制の構築など時代変化に柔軟に対応していきます。

・交通状況や道路構造などを踏まえた適正なリスク管理の推進を図ります。

3. イノベーションを加速させ、業務改善活動の活性化を推進し、社員と会社を成長・発展させていきます。

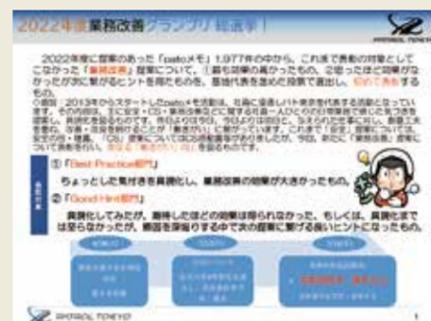
(1) 「patoメモ」など、社員の声を業務改善に活かします。

- ①業務改善グランプリ総選挙の継続開催による業務改善の推進

業務改善グランプリ総選挙！

日々の「業務改善」にスポットをあて、表彰の対象としました。

■「Best Practice部門」 ■「Good Hint部門」



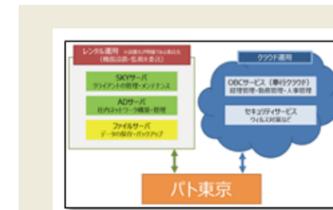
2023年度結果

部門	順位	所属	担当者	改善内容
Best Practice部門	1位	富士基地	山田昌樹	無線機の運用メール送信について
	2位	静岡基地	村松英成	事務所等の防犯カメラ設置について
	3位	八王子基地	北原晃己	給油時間の短縮
Good Hint部門	1位	横浜基地	江澤武史	ハンドマグネットの導入について
	2位	静岡基地	和久 浩	道路等にタイヤ空気圧センサー設置について
	3位	八王子基地	加藤竜彦	誘導棒のストラップ

(2) 自主調達の仕事を活用し、現場に即した資機材を迅速に導入します。

(3) 社内業務研究発表会で選出された業務改善策をNEXCO中日本グループ業務研究発表会において発信します。

(4) 社内システムのクラウド化
(安全で効率的な運用確保)に引き続き取り組みます。



自社サーバーを社外に移行することによる安全で効率的な運用を目指します。

4. 自社の付加価値を生み出し、経営資源の最適化を目指します。

(1) 安全性向上に寄与する自社製品の販売および路上作業安全講習会を開催します。

自社ノウハウの活用・展開

■新機能矢印板フォールディングシリーズ

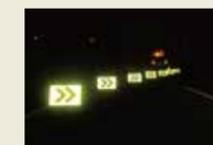
社員の提案から製品化された、高速道路に対応できる矢印板です。

2010年から販売開始。工事用ワイドサイズやパイロン型、ガードレール取り付け型など多種展開し、改良を重ねています。

NEXCO東日本、西日本と各グループ会社他、警察、消防や一般企業でも利用いただき、好評発売中。

▼特徴

- ・視認性、誘導性にすぐれ、すべての時間帯で明確な方向誘導が可能です。
- ・携帯性・操作性にすぐれ、折り畳んで一度に何枚も持ち運べ、車両への積載・収納性にも優れています。
- ・衝撃に強く、破損・飛散しにくい作りです。



夜間でも視認性抜群

■路上作業安全講習会

グループ会社および工事受注者向け安全講習。高速道路に潜む危険性の説明や回避方法、トラブル発生時の対処法など、百戦錬磨の社員が様々な現場業務で培ったノウハウを基に、動画や資料を用いて講演いたします。

座学講習



工事受注者講習



HSC新入社員講習



(2) ホームページのリニューアルなど安全啓発情報などの発信を継続・強化します。



安全啓発情報などの発信

安全啓発のためのヒヤリハット動画、社内の出来事などブログで発信しています。

2024年度 達成目標

達成目標	単位	2023		2024	2025	備考
		目標	実績見込	目標設定	目標	
作業中死亡事故件数	件	0	0	0	0	
労災事故件数(延べ労働時間当たりの労災事故件数) ⇒過去3か年平均以下 ※交通管理・車限のみ	件/百万時間	2.40件以下	1件	2.40件以下	過去3か年平均以下	
業務中事故(延べ走行キロ当たりの作業中事故件数) ⇒過去3か年平均以下 ※交通管理・車限のみ	件/百万km	2.30件以下	2.23	2.30件以下	過去3か年平均以下	
車限隊の他機関合同取締り	回数	25回以上	37	25回以上	25回以上	
重点取締り箇所における取締り時間	h	680h以上	885:40	680h以上	680h以上	
安全掲示板登録件数	件	300件以上	525	300件以上	300件以上	
安全提案具現化件数	件	50件以上	58	50件以上	50件以上	
B C Pのための交通管制経験者数	人	100人以上	126	100人以上	100人以上	
S S R感動指数(最高評価割合)	%	98.0%	98.0	98.0%	98.0%	
業務研究発表論文件数	件	14件以上	15	14件以上	14件以上	各基地1件以上
障がい者の法定雇用者数の確保(ダイバーシティ)	人	11人以上	10	12人以上	12人以上	法改正による
総労働時間(生産性向上)	h/人	1,920以下	1,850	1,920以下	1,920以下	
働きがいINDEX	ポイント	3.85以上	3.95	3.85以上	3.85以上	
高速道路安全指導員認定者数	人	40人以上	49	40人以上	40人以上	
高速道路安全指導員による安全講習会実施回数	回/人	1.5回/人以上	1.9	1.5回/人以上	1.5回/人以上	実施回数/指導員数

2024年度 PL計画

単位:百万円

	2023年度 (見込み)	2024年度		2025年度	
		計画	上半期		下半期
【売上高】	3,387	3,655	1,829	1,826	3,675
高速道路事業	3,360	3,633	1,817	1,816	3,653
休憩所事業	0	0	0	0	0
その他(関連)事業	27	22	12	10	22
【売上原価】	3,000	3,277	1,515	1,762	3,292
高速道路事業	2,977	3,258	1,505	1,753	3,273
休憩所事業	0	0	0	0	0
その他(関連)事業	23	19	10	9	19
【売上総利益】	387	378	314	64	383
高速道路事業	383	375	312	63	380
休憩所事業	0	0	0	0	0
その他(関連)事業	4	3	2	1	3
【販売費及び一般管理費】	384	378	185	193	383
高速道路事業	381	375	183	192	380
休憩所事業	0	0	0	0	0
その他(関連)事業	3	3	2	1	3
【営業利益】	3	0	129	▲129	0
高速道路事業	2	0	129	▲129	0
休憩所事業	0	0	0	0	0
その他(関連)事業	1	0	0	0	0
営業外損益	4	4	2	2	4
【経常利益】	7	4	131	▲127	4
特別損益	▲11	0	0	0	0
【税引前当期純利益】	▲4	4	131	▲127	4
法人税	2	2	44	▲42	2
法人税等調整額	▲71	0	0	0	0
【当期純利益】	65	2	87	▲85	2

会社概要

商号: 中日本ハイウェイ・パトロール東京株式会社

代表者: 代表取締役社長 阿久根 浩

本社住所: 東京都新宿区新宿一丁目17番11号

設立年月日: 2008年2月27日

社員数: 518名(2024.4.1現在)

資本金: 5,000万円(資本準備金5,000万円)

株主: 中日本高速道路株式会社(100%)

事業内容: 高速道路等における交通管理、道路管制および法令違反車両取締等業務



売上

単位:百万円

主な事業(2023年度売上見込:億円)	業務推移【百万円】	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度見込
高速道路事業	33.6	3,140	3,252	3,289	3,301	3,387
休憩所事業	0	15	1	1	3	3
その他(関連)事業	0.27	20	▲95	▲27	2	65
全事業売上高	33.87	794	791	717	713	722
		(内 固定資産)	144	159	244	244
		(内 純資産)	432	327	299	295

環境負荷低減への取り組み



経営方針に掲げる環境負荷の低減に向けて、以下の取り組みを行います。

- 環境に関する法規制や条例などを遵守し、社会的要請に応えます。
- 廃棄物や電気使用量の削減に努めます。
- 制服リサイクルなど、資源の有効活用に努めます。
- 地域の環境保全活動に積極的に参加します。
- 社員一人ひとりが率先して環境負荷低減活動に取り組みます。



諏訪湖清掃